



MILLENNIA 創傷ケアニュース

2005. Vol.2 10月号

はじめに、ご案内から・・・

第2回ミレニア創傷ケア研究会(横浜セミナー)

MILLENNIA Annual Meeting 2005 in YOKOHAMA

のご案内

いよいよ10月22日、ミレニアアニュアルミーティング 改め「第2回ミレニア創傷ケア研究会」(横浜セミナー)が近づいてまいりました。

本年もたくさんのご施設からのご参加のご連絡を頂戴いたしており、まことにありがたく、感謝いたしております。

過日、発表演題の1次締め切りをさせて頂きましたが、まだまだ大丈夫です。是非、日頃の治療のご成果をご発表ください。(担当営業までご連絡くださいませ)

- 1、日 時 : 平成17年 10月22日(土)
ミーティング時間は22日(土)13:00~21:30(二部形式)
- 2、会 場 : 横浜氷川丸・1等ダイニングサロン
12:00受付開始
(集合場所)住 所: 神奈川県横浜市山下公園地先

TEL : 045-641-4362

- 3、参加費 : お一人様 ...6,000円
会場までの往復の交通手段および交通費、宿泊費は各自ご負担願います。





ドクター鈴木の「創傷ケア ケーススタディ」 Case3

患者病歴： 96歳女性、脳梗塞の為、3年間寝たきり状態、糖尿病なし、軽度高血圧。

褥瘡6ヶ月以上： 両足に外反母趾から。左臀部は骨まで到達している。

感染： なし。悪臭なし。ドレナージは血液状しょう液

創傷： 両足外反母趾部： ほぼ赤色肉芽
左大転子： 黄色の壊死組織と不良肉芽



上記の治療法で、一部治癒、だが完治できず。

足創傷治療法：

週2回のメスによるデブリードマン、1日1回のハイドロジェルドレッシングで適切な水分を確保。エアースルマットレスとフォーム状足クッションによる足の除圧。

治療開始2ヵ月後：

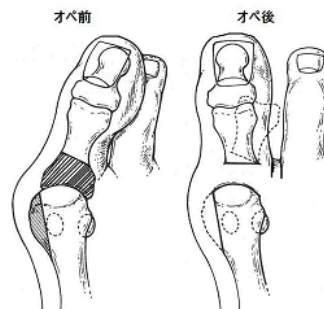
75%の創傷面積は治癒したものの、完治に至らず。外反母趾が重度のため、患者の家族に外反母趾手術を治療開始時期から推薦していたが、治療開始2ヵ月後、ようやく家族が手術に同意した。



外反母趾オペ： この時点で、手術目的で当院へ入院。血液検査などをすませ、3日後に両足の外反母趾手術、ケラー関節形成術を実施。術後、2週間で抜糸。術後6週間には完治した。

ケラー関節形成術 説明：

多数の外反母趾手術の内、最もシンプルで患者へのストレスも少ない手術。米国文献では、整形外科医Davisによって1887年に初めて紹介され、以後 Kellerの1912年の文献によって広められた。ネジなどでの固定が必要ないため、手術時間やリハビリ時間が短い。手術後は、第一足指節間関節が多少不安定になるため、患者が若く、スポーツなどをする場合は他の手術法を薦める。



手術後の両足、
褥瘡は完治し、
再発も今のところ
は無い



左臀部褥瘡治療法 説明:

この部分の褥瘡は、慢性であり左大転子外側まで到達していることもあり、外反母趾手術1週間後に、創傷と大転子骨の部分切除・除去手術を推薦、家族の同意後、手術実施。褥瘡によるトンネルをくりぬくように切除、同時に大転子骨も一部切除。術前のMRIでは、骨髄炎は無く、摘出した骨からの培養も問題は無かった。手術後はバック療法で治療、現時点では、ほぼ完治に近い。



手術前



褥瘡はとても深く骨まで到達している



褥瘡のトンネルをくりぬく様に切除、同時に大転子骨も一部切除



手術直後



手術後 2週間



手術後 2ヶ月

編集後記



長かった残暑もようやく和らぎそうな気配で、季節は一気に秋になりそうな今日この頃、皆様にはお変わりありませんか？
季節の変わり目です。体調には気をつけられて下さい。編集人は早速、風邪を引いてしまいました。

さて、「ミレニア創傷ケアニュース 2005 Vol.2号」では、足と臀部の褥瘡のケーススタディをお届けしました。

また、最新の文献から、**外科的デブリードメントは慢性静脈不全創傷の治癒を促す**という文献のご紹介をしたかったのですが、紙面の都合上、次号でご紹介できればと思っています。

「ミレニア創傷ケアニュース」では、皆様からの投稿もお待ちしております。
「こんな創傷・褥瘡を治した」や「うちの病院では創傷ケアにこう取り組んでいる」といったご発表を、是非是非、お願いします。

また、「いまさら聞けない・・・」といった質問も、お待ちしております。
匿名でも結構です。メールかFAXでご質問ください。
Dr.李家・Dr.鈴木・NS神崎・コーディネーター菊池が、皆様の質問にお答えします。

では、まずは横浜でお待ちしておりますが、残念ながら、お越しいただけない皆様には、また次号でお会いしましょう。

株式会社ミレニア

学術情報・実際のケーススタディを中心に、最新の米国・日本における創傷ケアに関する情報を、皆様へお届けいたします。
内容に関するご質問・ご要望などございましたら、ミレニアまでご連絡ください。

株式会社 ミレニア

〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町2-8-5タカギビル7F
TEL 03-5695-3028 FAX 03-5695-3000
URL <http://www.millennia-corporation.jp>